

科目名	まつり実践実習Ⅱ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			国際観光学科	□必修 ■選択
英文表記	Practice and Training of Festival Ⅱ	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年	
ふりがな	いのうえ ひろし	開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
担当者名	井上 寛	修得単位	2単位	
授業のテーマ	竿燈技術のさらなる向上を目指し地域のまつりや伝統文化に視野をひろげる			
到達目標	1. 竿燈まつりの技術をさらに上達させることができる。 2. 地域のまつりや伝統文化へ視野を広げ、その重要性を理解できる。			
授業概要	8月の竿燈まつりを終えて、反省点をもとに翌年の竿燈まつりに向けてさらに技をみがくための練習に取り組みます。一方で、秋田周辺のまつりや伝統文化にも視野を広げて学びます。			
授業計画				
第1回	オリエンテーション／竿燈まつりの振り返り	第17回	竿燈まつりの練習 15 短大体育館	
第2回	竿燈まつりの練習 1(短大体育館)	第18回	竿燈まつりの練習 16(短大体育館)	
第3回	竿燈まつりの練習 2(短大体育館)	第19回	竿燈まつりの練習 17(短大体育館)	
第4回	竿燈まつりの練習 3(短大体育館)	第20回	竿燈の歴史・文化研究 1	
第5回	竿燈まつりの練習 4(短大体育館)	第21回	竿燈の歴史・文化研究 2	
第6回	竿燈まつりの練習 5(短大体育館)	第22回	竿燈の歴史・文化研究 3	
第7回	竿燈まつりの練習 6(短大体育館)	第23回	まつり調査研究 1(電算室)	
第8回	竿燈まつりの練習 7(短大体育館)	第24回	まつり調査研究 2(電算室)	
第9回	竿燈まつりの練習 8(短大体育館)	第25回	まつり調査研究 3(電算室)	
第10回	竿燈まつりの練習 9(短大体育館)	第26回	まつり調査研究 4(電算室)	
第11回	竿燈まつりの練習 10(短大体育館)	第27回	まつり調査研究 5(見学)	
第12回	竿燈まつりの練習 11(短大体育館)	第28回	まつり調査研究 6(見学)	
第13回	竿燈まつりの練習 12(短大体育館)	第29回	まつり調査研究 7(見学)	
第14回	竿燈まつりの練習 13(短大体育館)	第30回	研究成果のまとめ	
第15回	竿燈まつりの練習 14(短大体育館)	第31回	研究成果の発表	
第16回	実技試験			

授業時間外の学習	秋田のさまざまな地域で行われる祭りや小正月行事に積極的に参加してください。
履修条件 受講のルール	全くの初心者の人でも基本から指導しますので興味があったらぜひ履修してください。 まつりの見学など授業時間以外の夜間や休日に出かける場合があります。
テキスト	授業時に適宜資料を配布します。
参考文献・資料	秋田市竿燈会「竿燈ができるまで一竹の準備、親竹、横竹、継竹のつくり方、竿の組み立て方」
成績評価の方法	①まつり調査研究への参加・レポート(40%) ②実技試験(30%) ③取組姿勢(30%) ※活動に対する意欲を総合的に評価します。 ※出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、期末試験を受けることができません。
オフィスアワー	井上：毎週月曜日 2 時限(10:40～12:10)と毎週金曜日 3 時限(13:00～14:30)
成績評価の基準	平成 28(2016)年度以降入学した学生 秀(100～90 点)、優(89～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下) 平成 27(2015)年度以前に入学した学生 優(100～80 点)、良(79～70 点)、可(69～60 点)、不可(59 点以下)
学生への メッセージ	秋田といえば「竿燈」というくらい全国的に有名なまつりに参加し技術を磨くための授業です。お客様に見(魅)せるわけですから上手に演技するための特訓は欠かせません。そしてまつりの意義を理解した上で、「魂」を吹き込んだ演技をできるように一緒にがんばりましょう。